

東白石通信

東白石まちづくり実践会
とんぱくニュース
札幌市白石区本通13丁目南10-1
東白石まちづくりセンター内
TEL861-9262 FAX861-4369

まちづくりセンター所長着任あいさつ

東白石まちづくりセンター 所長 鈴木 信 一



今年4月に所長としてまいりました。すでにいろいろな地域の会議、行事に参加させていただいておりますので、東白石地区の皆様には本当に温かく迎えていただき、ありがとうございます。あらためてこの場をお借りしてごあいさつをさせていただきます。

着任前は中央区役所で町内会関係の仕事を担当しておりましたので、町内会や地域のいろいろな団体の活動についてはある程度理解をしているつもりでございました。しかし、いざ活動の最前線に入ってみますと、それぞれに個々別々の課題、問題があり、活動の担い手不足、高齢化などとも相まって、皆様大変な苦心をされ日々の活動に向き合っているんだということを痛感しました。

町内会の加入率も札幌市全体で年々低下しているという状況で、町内会の意義ということが議論されることもあります。が、“そこに住んでいる”ことで人々がつながっている町内会という母体があってこそ、地域で安全に、安心して、快適に暮らせるまちづくりを共に目指そうという機運が醸成されるのではないかと思います。この東白石地区でも、そのような機運の中で、防犯パトロール隊の充実や安否確認等見守り活動の活発化、自主防災意識の高まりなどが顕著になっております。

これからもいろいろな場に参加して、皆様と一緒にまちづくりを考え、ひとつひとつの課題に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

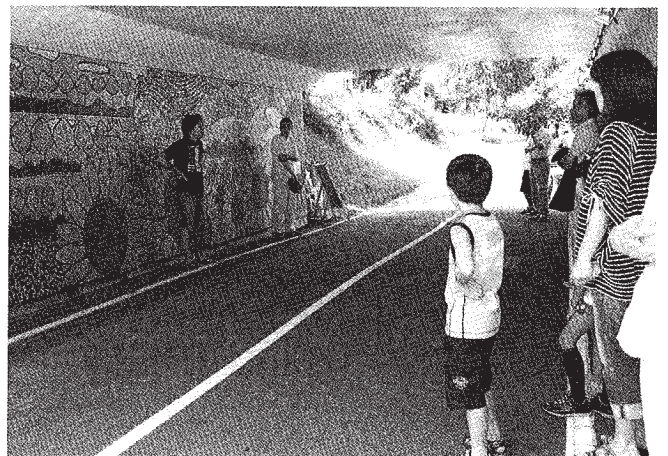
サイクリングロード 「フジトンネル」のモザイクタイルアート制作

昨年に続いて今年も8月25日（土）～9月8日（土）の期間、南郷通11丁目南「フジトンネル」で、東白石地区町内会連合会と本郷小学校の児童が中心となってモザイクタイルアートの制作を行います。昨年の壁画タイトルは、「春から夏へ希望の大地」、今年は向かい側壁面に「秋から冬へ希望の大地」です。

従来サイクリングロードのトンネル内は、暗いイメージが強く、落書きも多かったのがモザイクタイルアートの明るい芸術空間で一新し、落書きもなくなり、地域住民はもとよりサイクリングロード利用者に好評を得ています。

制作作業は、15色以上のタイルを小さく割ったカケラ約20万枚を組み合わせ並べ、接着剤で壁面に一枚一枚と貼り付ける作業です。子どもたちから大人まで誰でも気軽に自由に参加できますので、この夏の思い出に良い汗を流してみませんか。

なお、このアート作業は、昨年とおなじ厚別区に住んでいる芸術家、原田ミドー先生の指導監修のもとで進めていきます。



昨年の完成披露式

防火!

火の用心!! あなたの家は大丈夫?

★今年度の火災発生件数 (平成24年7月31日現在)

	札幌市全体	白石区	東白石地区	東白石地区の火災発生原因と被害内訳
24年度	358件	42件 (左の11.7%)	4件 (左の9.5%)	【原因】放火2件、こんろ1件(天ぷら油)、たばこ1件 【被害】部分焼1件、ぼや3件、うち死者1名
23年度 同 期	359件	43件 (左の12.0%)	7件 (左の16.3%)	【原因】電気3件、こんろ1件、たばこ1件、不明2件 【被害】半焼1件、部分焼1件、ぼや3件、車両2件 うち死者1名

今年度のこれまでの火災件数を前年度同期と比べると、札幌市全体や白石区ではほとんど増減はありませんが、東白石地区に限れば3件の減となっています。

一方、火災原因としては、前年度にはなかった「放火」が2件発生しています。今年度は白石区で6件の放火が発生し、そのうち2件が東白石地区となっており、今後の火災予防において、特に放火を防ぐための自衛努力が必要となります。

放火されない環境を
つくりましょう

- 放火を防ぐポイントその1
ごみは決められた日の朝に出しましょう。
- 放火を防ぐポイントその2
家のまわりに燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- 放火を防ぐポイントその3
物置、車庫などは必ずカギをかけましょう。



放火されやすい危険度をチェックできます

放火は、就寝時間帯の深夜0時～4時に多く発生しています。消防局のホームページには、放火の危険度を確認できるチェックリストがありますので、ご活用ください。



<http://www.city.sapporo.jp/shobo/yobo/houka/houkahp/index.html>

あなたの家も狙われている!!

防犯!

★今年度の犯罪発生件数 (平成24年6月30日現在)

	白石区内	東白石地区	東白石地区の犯罪内訳
24年度	962件 (下の80.2%)	148件 (左の15.4%)	自転車盗難32件、車上狙い14件、侵入窃盗11件、タイヤ盗難16件、その他(※)75件
23年度 同 期	1,200件	181件 (左の15.1%)	自転車盗難40件、車上狙い17件、侵入窃盗30件、タイヤ盗難9件、その他85件

※「その他」は、コンビニ強盗、暴行、傷害、自販機狙い等、発生数が少ないものの総計

今年度の白石区および東白石地区の犯罪発生件数を前年度同期と比べると、白石区全体で20%ほど減っています。東白石地区に限っても、ほぼ同様の減となっています。

東白石地区での犯罪の内訳としては、自転車盗難が最も多いのは前年度と変わりませんが、侵入窃盗（空き巣）の件数は大きく減り、一方でタイヤ盗難が増えています。

全体的には犯罪総件数が減っていることから、自衛パトロール等による成果がうかがわれます。しかしながら、自転車盗難が依然として多いことや、タイヤ盗難が増えていることから、住居侵入に対する施錠等の対策については意識が高まっている一方で、戸外の物品管理、盗難防止への注意が不十分と考えられます。今後一層の注意喚起が必要です。



○自転車盗難の防止

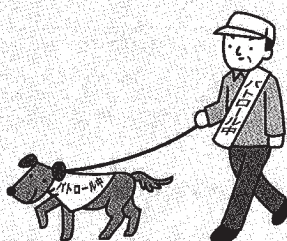
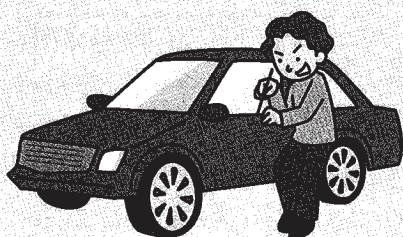
自転車が盗難に遭いやすい場所は、夜間人目に付かず、たくさんの中から物色できる、駅やマンションの駐輪場です。駐輪場に置くときは、カギを二重にかけるとともに、長い期間放置することのないように気を付けましょう。



自転車やタイヤの盗難を防ぐには?

○タイヤ盗難の防止

タイヤが盗難されやすい状況としては、屋外に放置している場合はもちろんですが、車庫や物置にしまっている場合がよく狙われています。特に車庫は、車の出入りがあるため普段から施錠していないケースや、または施錠できないタイプのものも多く、深夜に侵入され高価なタイヤが盗難に遭うというパターンです。車庫の場合は、タイヤばかりでなく車上荒らしにも遭いやすいため、必ず施錠をするよう心がけてください。





昭和30年、農家が点在する畑の真ん中に平家建てブロック17棟120戸の市営住宅が建設され、当時の市営住宅の団地としては一番東に位置するということで、自治会名は幾つかの候補名の中から「東友会」を選んだと記念誌に記されております。さらに昭和55年、6棟264戸の5階建てに改築され、現在、本郷通り10丁目南3～本郷通り10丁目北3～本郷通り10丁目南11に6棟254戸が入居しております。30年ほど前の昭和57年頃の自治会「東友会」の活動は、「ソフトボール大会」「盆踊り大会」「団地中庭でジギスカン大懇親会」「200名の参加で大運動会」「敬老のつどい」「防災訓練に団地住民が150名参加」「子供達160名を含む220名の参加でクリスマス、餅つきのつどい」等々記録が残っており、その熱気とパワーに将来への希望に満ちあふれた若々しい団地の姿が鮮やかに蘇ります。

自治会で調査した訳ではありませんが、現在は当団地でも小学生の子供は数人程度と認識しており、70才以上のいわゆる高齢者が多数を占めているものと推測出来ます。マイカーを手放し、外出等に公共交通機関を利用する人達も近年増えております。ただ、「本郷通商店街」という札幌では珍しい個人商店街が隣接しているので、日常の買い物は本当に便利で助かっています。そのような中で自治会では8名の執行部と班長28名、計36名の役員が自治会会員の皆さんの協力を得て住環境の維持改善のため、①春・秋年2回の一斉草刈清掃②本通第一町内会、長栄町内会との合同での3町内会合同夏休みさわやかラジオ体操、③3町内会合同子供夏祭り、④敬老祝賀会、⑤秋の日帰り温泉旅行、⑥除雪、⑦新年交礼会、⑧札幌市広報の配布、⑨パートナーシップ除雪、⑩東日本大震災被災者の方の支援、⑪3町内会「自主防災組織」の防災訓練、⑫配水管清掃、⑬資源ゴミの回収、⑭東白石安心安全パトロール、⑮新入学児童へお祝い等々の活動を進めております。「敬老祝賀会」では70歳以上の方を招待し、その年に70歳となられる方にお祝い品を贈呈しております。これら各種の催しには女性部の皆さんが結束し、大きな力になっているのも特徴です。高齢者や高齢独居者、介護を受けている人達の情報収集等、実態の把握がなかなか進まないことに困難を感じながらも、できるだけ触れ合いの場を多く作る多面的な自治会活動を心掛けております。



東白石地区の各種関係団体訪問

“どのような活動をしているのですか……？”

第3回目は東白石地区体育振興会の活動を紹介します。



東白石地区体育振興会 会長 小島 弘 介

東白石地区体育振興会は昭和53年8月に、当時の体育指導委員（現スポーツ推進委員）の大先輩の方々の音頭で地域のスポーツ・レクリエーションの普及を目的として町連に呼び掛け設立されました。当時は26単位町内会があり、少年野球、ママさんソフトボール、少女ソフトボール、卓球、サイクリングロードを使っのマラソン大会、綱引き、冬の歩くスキー等盛大に開催しておりました。また、昭和55年6月、東白石小学校体育館の自主管理業務を教育委員会から受託することが出来、使用開始後は、各サークルを曜日毎に振り分けて活動していました。

平成3年1月東白石地区と白石東地区に分離され、東白石地区は16単位町内会になり、その後本郷小学校体育館が自主管理校となり、東白石校は本通東体育振興会、本郷校は南郷東体育振興会として独自に運営することになりました。2つの体育振興会を合せて東白石体育振興会として新出発しました。組織は、町連の青少年部長、南郷東の会長、本通東の会長の3名で会長、副会長を務め各単位町内会長が運営委員となり、スポーツ推進委員、両体育振興会より理事として数名の方々に協力をお願いしております。活動経費は、各単位町内会からの会費、町連からの助成金、大会参加料等で運営しております。活動内容は、住民の高年齢化に伴い生涯スポーツ的な楽しむ会にしております。春と体育の日には自然を破壊しない環境に優しいグラウンド・ゴルフ、9月にはテニスと卓球を一緒にした競技テニポン、冬は室内スポレク（内容はミニバレー、テニポン、卓球、グラウンド・ゴルフのニアピン賞ゲーム等）で楽しんでおります。一人でも多くの方の参加をお待ちしております。

他に参加協力事業として白石区8体育振興会連絡協議会主催の卓球大会、白石区民室内スポレク大会、白石区主催の区民ふれあい健康マラソン大会に選手、大会役員を派遣しております。

平成24年度 まちづくり実践会活動情報

【地域安心安全ステーション整備事業】 （東白石安心安全パトロール隊）	白石神社例大祭特別警戒パトロール（9/10、11 東白石地区内）、歳末特別警戒パトロール（12/19）、青色灯パトロール（原則 第2、第4金曜日）、徒歩パトロール（原則 第1、第3水曜日）
【地域主体の子育てサロン事業】 （にこにこサロン）	にこにこサロン（原則 毎月第2火曜日 午前10時～11時30分 本郷小学校ミニ児童会館）
【児童会館と地域との連携によるまちづくり事業】 （ごらぼ DE トンパーク）	お泊り会（9/15、16 東白石児童会館・東白石会館）、トンパクキッズフェスティバル（12/22 東白石児童会館）、親子でチャレンジ（1月下 会場未定）
【ぬくもりのある地域への絆事業】 （ふれあい友 [You] & 愛 [I]）	一人暮らしのお年寄りと小学生の懇談会（9/11東白石会館、9/13南栄会館）、友愛訪問（見守り活動）（11月上 東白石地区）、お年寄りとの忘年会（12月上 アサヒビール園）